

分野連携企画報告書

行事（企画）名

Dynamics and Design Conference 2022 (D&D 2022) 及び TRANSLOG 2022 機械力学・計測制御部門、交通・物流部門合同セッション「交通・物流機械のダイナミクス（仮）」

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/dmconf22/>
<https://www.jsme.or.jp/conference/tldconf22/>

1.開催日・会場 D&D: 2022年9月5日（月）～ 9月8日（木）・秋田県立大学 本荘キャンパス
TRANSLOG: 2022年11月30日（水）～ 12月2日（金）・東京大学 生産技術研究所

3.企画内容

機械力学・計測制御部門と交通・物流部門の連携推進を狙い、両者の部門大会において合同セッションを実施する。低負担で試行的に実施するという観点から、新たな講演会を企画するのではなく、D&Dでは独立した新たなOSを合同セッションとして設け、TRANSLOGでは既存のセッションを合同セッションとして設定した。

4.連携の成果

D&Dにおける合同セッションでは12件の講演が3つのサブセッションに分けて実施され、聴講者はのべ98名であった。ドライブレコーダや歯車の耐久性など、ダイナミクス以外の交通・物流関係の講演も見られた。なお、同部門間での他の連携企画として鉄道に関するチュートリアルが同時開催されており、相乗効果もあったと思われる。

TRANSLOGでは本合同セッションを含むテーマで12件の講演が3つのサブセッションに分けて実施され、聴講者はのべ約120名であった。

聴講者が主として活動する部門は不明であるものの、D&DでTRANSLOGの紹介をするなどしたことから、部門間の垣根が下がる効果はあったと思われる。

2.企画部門

機械力学・計測制御部門
交通・物流部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

- ・ コロナ禍の影響で懇親会の開催がなかったため、研究者間の交流が生じにくかった。
- ・ 部門としての企画であるので、継続性の観点から、両部門の運営委員から本企画担当者（オーガナイザ）を選出するような仕組みが望ましい。
- ・ 機械力学・計測制御部門を主たる活動部門としている研究者がTRANSLOGで講演したと思われる事例はあまり見られなかった。研究者があえて他部門との合同セッションで講演することにインセンティブが働くような仕組みを考えていくべきである。
- ・ TRANSLOGはハイブリッドでの開催であり、フルオンラインであった昨年度と同程度の連携に留まってしまった。オンライン参加者は気軽に参加できるものの、対面のような相互交流は難しい。今後はハイブリッド開催も増えていくと考えられることから、対面参加者、オンライン参加者の両者が交流できるような企画も必要である。